

平成 27 年度 第 3 回

水戸市ボランティア・NPO 等との協働推進のための市民懇話会 会議の概要

日 時 平成 28 年 1 月 20 日（水） 午後 2 時～3 時 30 分

場 所 水戸市役所本庁舎東側臨時庁舎 1 階 会議室 2

議題 1：市民アンケートの内容について

平成 28 年度市民アンケート（案）について、前回の会議で挙げられた意見の反映箇所を説明し、内容に関する最終協議を行った。

【主な意見】

（委員） 「市民の代表」は市長だと思うので、「市民団体の代表」としてはどうか。

（委員） 私は「市民の代表」は話し合いに参画した人たちを指すと思ったので、違和感はなかった。例えば、「市民の代表の方々」としてはどうか。

（委員） 「市民の代表の方々」とすると、市長一人を指すことはないので、誤解を招かないと思う。

（委員） 「市民の代表の方々」で修正するという事でお願いしたい。

（委員） 「ご自身で記入してください」とあるが、体が不自由であったり、高齢であったら、本人が書けない場合も考えられると思う。そうすると、このアンケートは私には関係ないとなってしまうのではないか。「ご自身」を強調する必要があるのか。

（委員） 前回の会議でも議論になり、委員会としては、「ご自身」を協調するという結論となった。

（事務局） 専門的な見地から、一般的なアンケートは、代理回答では正確な回答が得られないという意見を頂き、本人が記入することが重要であるため、「ご自身」を強調した経緯がある。

（委員） 「参加したくない」はとてもマイナスな表現で、「参加しない」とは大きく違うと思う。どのような意図でこのような表現にしたのか。

（事務局） この問いでは、今までの経験を問うものではなく、これから将来に向かっての参加意向を問うものなので、したい・したくないの選択肢とした。

（委員） 「平成 28 年度市民アンケート」ではなく、「アンケートに御協力ください」などのやわらかい表現にしてはどうか。また、「周知する」ではなく、「知っていただく」としてはどうか。

（事務局） 「平成 28 年度市民アンケート」は、「アンケートに御協力ください」などのやわらかい表現に修正し、「周知する」は、「知っていただく」に修正する。

（委員） 「郵便ポストに投函する」とあるが、「投函する」という言葉の意味は、

「郵便ポストに手紙などを入れる」なので、「郵便ポスト」は削除してはどうか。

(事務局) 「投函」の意味を確認して修正する。

(委員) 「公序良俗に反する」は削除してはどうか。

(事務局) 「公序良俗に反する」とは、人を批判することなど一般的な社会常識にそぐわないことを意味し、「公共の福祉」とは意味が違う。

(委員) 「公序良俗」という難しいことばではなく、簡単な言葉に修正していただきたい。

(事務局) 「道徳に反する」はどうか。

(委員) 「公序良俗」は「道徳に反する」に修正をお願いしたいと思う。

(委員) 出身地について、水戸市以外の項目では具体的に書く欄は無いが、茨城県外の場合は具体的に書く欄があり、バランスが悪いと思う。また、この県の出身なのかという情報も必要なのか。

(委員) 出身県の違いも参考にしたいということでこのような表記になったと思うがどうか。

(事務局) 具体的に書く欄は削除する。

(委員) 属性の問いを後ろに持ってきたことで、とても答え易いアンケートになったと思った。

(委員) 外国の方は茨城県外の欄にチェックするのか。

(委員) 外国の方が水戸で暮らしていて、どのように感じているのかは知りたいところなので、海外の欄を増やすべきではないか。

(委員) 海外の欄を増やすことで修正する。

(委員) 「未来の水戸」と言われても、イメージがなかなか浮かばず難しいと思う。

(事務局) 日々生活している中で、素朴な疑問や身近に感じている想いをここに書いてもらい、交流のひろば等で一緒に考えていくためこの設問を考えた。

議題2：市民アンケートの実施方法について

市民アンケートの実施方法について、より多くの市民の意見や課題を把握するため、無作為抽出で2000人に郵送する方法の他、インターネットによる回答や、各関係施設の来場者にアンケートを行うなど、様々な手法を示し、意見を求めた。また、アンケートの実施に係る費用について、水戸市で次年度の予算要求を行っていることを説明した。

【主な意見】

(委員) イベントでアンケートをする際には、ボールペンなどの景品が貰える場合が多いと感じる。そうでないとアンケートには答えてくれないと思う。

(委員) 郵送費の予算も付くか分からない状況で、景品の予算を付けるのは現実

的ではないかもしれない。

(委員) P T Aや子ども会育成会に協力をお願いすれば、若い子育て中の方の意見が貰えると思う。

(委員) 無作為抽出が原則だが、インターネットなど、他の方法でとったアンケートはどのように処理するのか。

(事務局) 現在事務局で検討している。

(委員) 統計処理をする際に、無作為抽出とは分けて処理を行わないと、偏った結果になると思う。

(委員) 市政モニターや審議会委員にアンケートを依頼する方法は、積極的な意見は聞くことはできると思うが、無作為抽出で実施する意味が薄らいでいくと思うので、処理をどうするのか検討すべきだと思う。ただ数を集めれば良いという話ではないと思う。

(委員) 大学や企業などは、水戸市民ではない人もいるので、水戸市以外に住む人の回答も混じってしまうのではないかな。

(事務局) 基本的には水戸市在住の人を対象にしているが、無作為抽出以外の方法で実施する場合は、配慮しながら集めていかなければならないと思う。

(委員) 大学生は、下宿していても数年で水戸を離れていくと思うので、これから先も水戸に住み続ける人とは、意識や考え方が違うと思う。

(事務局) 最近市外の人と話すことがあり、自分の住む市町村と比較し、水戸市の良い所や悪いところを指摘しており、気づかされる点もあった。水戸市だけに住んでいる人は、比較対象が無く、良い点・悪い点に気づきにくいと思う。市外から水戸市に通勤・通学している人の声を聞くのも重要だと感じた。

(委員) アンケートはいつ頃実施する予定で、いつ回収して、どんな形で市民に公表するのか教えていただきたい。

(事務局) 来年度の5月、6月頃に郵送し、7月8月に集計、分析を行い、9月頃にまず市民懇話会で報告し、そのあとホームページ等で市民の皆さんに公表したいと考えている。

(委員) 統計処理は専門家にお願いするのか、ソフトを使うのか。

(事務局) 現在事務局で検討しているところである。

(委員) 次年度の予算措置にもよると思う。

(委員) 自由記述欄の分析には手間がかかると思う。

(事務局) 分析方法については事務局で検討する。

(委員) 交流のひろばには私たちも参加できるのか。いつ頃実施するのか。

(事務局) いろいろな立場の人が集まってテーマについて話し合う場を来年度末頃にできればと考えており、事前に市民懇話会でも検討していきたい。話し

合いの場合は、公開で開催し、市民懇話会の皆様にも参加していただきたいと考えている。

(委員) 今までも、いろいろな場を設けて市民の声を集めたり、各部署でいろいろな問題に取り組んでいると思うが、この交流のひろばは、それらとは別に問題を抽出する場となるということか。

(事務局) 今までは、ある問題に対して関係がある人たちを中心に話し合いを行う場合が多かったが、交流のひろばは、その問題には直接関係ない人たちも含めた幅広い立場の人々が集まって話し合いを行うという、今までのものとは別のものとして考えている。

(委員) 若い世代は、郵送でアンケートが届いても、気軽にできるインターネットで回答すると思う。その場合は、無作為抽出された人も、集計は別扱いになってしまうのではないか。

(委員) 自由回答の欄が多いので、手で書くよりパソコンの方が楽だと感じる人が多いと思う。

(委員) 郵便だけでなくFAXでも送れるようにしたほうがいいと思う。

(委員) 4ページあるので、FAXは適切でないと思う。ばらばらになってしまうので、集計できなくなってしまうことがある。

(委員) アンケートの結果をもとに街頭インタビューをするのは面白いと思う。

(事務局) 郵送以外の方法として示した中から、可能な方法を事務局で検討する。

(委員) 統計処理には気を付けていただきたい。

(委員) 大学や企業には、水戸市民ではない人もいるので、水戸市民が回答するものだということが一目見て分かるように工夫をしていただきたい。

(委員) 「水戸に住む一人の市民として～」という部分を目立たせるなど工夫してはどうか。

(事務局) 「水戸市在住の方が対象です」という注意書きを入れるなど、事務局で工夫したいと思う。

(委員) 何歳からアンケート回答の対象なのか。

(事務局) 16歳以上が対象となる。

(委員) 無作為抽出の実施は、偏りのない市民の意向を反映する意図があると思う。分母を増やすためにいろいろな方法を試すと、本来の意味合いが薄れてしまうので、無作為抽出をしっかりやった方がいいと思う。

(委員) 分母を増やせばいいというものではなく、少数でも、本アンケートの「住みやすい水戸市を創る」という趣旨に照らし、アンケートの中にすごく良い意見が出ると思う。

(事務局) 毎年回収率が上がっていくのが理想。そうすれば市民の関心が高まっているということにつながる。引続き皆様の御協力をお願いしたい。

議題3：その他

- 情報公開について

協働の原則に基づき、会議の概要を市ホームページと市民活動情報Webサイト「こみっと広場」で公表することの了承を得た。